

49 確率(1)

2 人がじゃんけんを 1 回するとき、あいこになる確率は $\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$ である。

また、3 人がじゃんけんを 1 回するとき、あいこになる確率は $\frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$ である。

50 確率(2)

赤玉 4 個、白玉 3 個の入った袋から、よくかき混ぜて玉を 3 個同時に取り出すとき、3 個とも赤玉である確率は $\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イウ}}}$ ，1 個だけが赤玉である確率は $\frac{\boxed{\text{エオ}}}{\boxed{\text{カキ}}}$ である。

51 確率の加法定理

1 から 9 までの番号を書いたカードが 1 枚ずつ合計 9 枚ある。この中から 3 枚を取り出すとき、カードの番号の和が偶数となる確率は $\frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$ である。

52 余事象の確率

4 本の当たりくじの入った 10 本のくじがある。この中から 3 本のくじを同時に引くとき、少なくとも 1 本が当たる確率は $\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$ である。

53 反復試行の確率

1 個のさいころを 3 回続けて投げるとき、1 の目が 1 回だけ出る確率は $\frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$ である。

54 条件つき確率

ある試行における事象 A ， B について、 $P(A) = \frac{2}{5}$ ， $P(B) = \frac{3}{4}$ ， $P(A \cap B) = \frac{3}{10}$ のとき

$$P_A(B) = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}, \quad P_B(A) = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$$

である。